



ヘラノキ 2021/5/15 北九州市河内

竹林の中のヘラノキ。花の柄の基部につくへら状の総苞葉の形から、ヘラノキと名付けられた。花期は6月から7月。つぼみは発見できず。しかし、周りに幼樹が沢山成長していたので、意外と繁殖率は高いのかもしれない。発芽するのに二年を要する。

樹の内皮繊維は強く、縄や、蓑、布などに利用されるという。小倉南区の沼八幡神社の「沼楽」で腰蓑として利用するため調達を頼まれた事がある。

パピヨン